GA23決議および会費体系の変更案 ― よくある質問と回答

本*FAQ*は、*GA23*決議および会費体系の変更案に関する発表に合わせて公表するものです。

RSPOは、2004年以来初めて会費体系を改定することを提案しています。本提案は、**2026**年**11**月**4**日に開催される第23回総会（GA23）において会員の承認を求めるために付議されます。承認された場合、改定後の会費は**2027**年**1**月**1**日から適用されます。

本FAQでは、会費体系の変更内容、変更を提案する理由、および貴組織への影響について説明します。

会費の改定は、適用される取引手数料の調整と合わせて、統合的かつ均衡の取れた資金調達パッケージの一部を構成します。その目的は、RSPOの運営の持続可能性を確保しながら、マルチステークホルダー・モデルへの幅広く効果的かつ包摂的な参加を維持することです。

最近の取引手数料の変更は、会費体系の変更案とは別のものですが、理事会が提案するより広範な資金調達パッケージを補完する役割を果たします。GA23で会費案が承認されることを条件に、RSPOは年間取引手数料収入の10%をステークホルダーの包摂とインパクトに関する活動に充当します。これにより、現行の資金調達モデルで過去の準備金や毎年の剰余金に依存するのではなく、小規模農家、NGO、その他の重要なステークホルダーへの支援を強化するための、より確実で継続的な資金を確保できます。

重要：　取引手数料の変更はすでに理事会（BoG）で承認されており、**2026**年**10**月**1**日に発効します。取引手数料の詳細は、本お知らせをご覧ください。

GA23で**RSPO**会員が投票を求められるのは、会費の変更案のみです。

変更について

1. RSPOが会費体系を変更するのはなぜですか？

現行の会費体系は2004年以来見直されておらず、インフレに応じた調整も行われていません。

過去22年間で、RSPOの活動範囲は大幅に拡大しました。トレーサビリティや技術に関する要件、認証・保証活動、規制上の義務、会員支援サービスが拡充し、それらを実施するために必要な組織内の専門知識やシステムも増強されてきました。

改定後の体系は、各会員区分がRSPOの仕組みにおいて果たす役割や関係性に応じて、拠出金（会費）の負担をより見合ったものにすることを目的としています。これにより、RSPOは開かれた包摂的な参加を維持しつつ、持続可能な運営を続けることができます。その結果、一部の区分では会費が引き上げられ、その他の区分では据え置きまたは引き下げとなります。

2. 会費と取引手数料の変更を合わせて検討するのはなぜですか？

これら2つの手数料・会費は異なる目的を持ちますが、RSPOの資金調達モデルを相互に補完する要素です。

会費はRSPOの中核業務に必要な基礎的資金を提供し、取引手数料は市場活動に応じて変動します。両者を合わせて検討することで、いずれか一方に過度に依存する場合よりも、強靭な資金調達モデルを構築できます。

3. 会費の変更は承認済みですか？

いいえ、まだ承認されていません。RSPO定款第16条(a)および第16条(c)に基づき、会費体系を変更するには総会の承認が必要です。理事会が改定案を提出しており、GA23において決議案として会員に付議されます。

承認された場合、事務局は定款第5条(c)および第5条(d)をそれに応じて改定し、改定後の会費は2027年1月1日から適用されます。

会員資格への影響

4. 提案されている会費はいくらですか？

以下の表は、現在の年会費と、GA23で決議が承認された場合に2027年1月1日から適用される会費案を比較したものです。

会員区分		現行会費（€）	**2027年1月1日以降の会費（€）**
アブラヤシ生産者	搾油工場あり	2,000	**2,000**
	搾油工場なし	2,000	**1,000**
	小規模農家グループマネージャー	250–2,000	**250**
	小規模生産者（500ヘクタール未満）	500	**250**
パーム油加工業者および／または取引業者		2,000	**3,500**
消費財製造業者		2,000	**3,500**
小売業者		2,000	**3,500**
銀行・投資家		2,000	**3,500**
環境・自然保護NGO	年間収入50万米ドル超	2,000	**250**
	年間収入50万米ドル以下	2,000	**100**
社会・開発NGO	年間収入50万米ドル超	2,000	**250**
	年間収入50万米ドル以下	2,000	**100**
アフィリエイト会員		250	**250**
サプライチェーン・アソシエイト 年間250ユーロ相当を2年に1度請求します（Q9参照）。		100	**2年ごとに500** （年**250**相当）
管轄区域会員		会費なし	会費なし

会員区分	現行会費(€)	2027年1月1日以降の会費(€)
名誉会員	終身会費なし	終身会費なし

5. すべての会員の会費が値上がりしますかか？

いいえ、提案されている会費は区分によって異なります。各区分について、その状況およびRSPOの仕組みとの関係を踏まえて個別に検討しました。本提案では、次のとおりです。

- 搾油工場を保有する生産者の会費は据え置かれます。 • 搾油工場を保有しない生産者の会費は引き下げられます。
- 小規模農家グループマネージャー区分の会費は、段階制から一律料金へ移行し、引き下げられます。
- NGOの会費は引き下げられます。
- アフィリエイト会員の会費は据え置かれます。
- 管轄区域会員および名誉会員は、引き続き会費がかかりません。
- 加工業者・取引業者、消費財製造業者、小売業者、銀行・投資家、サプライチェーン・アソシエイトの会費は引き上げられます。

6. 生産者の会費を据え置き、または引き下げるのはなぜですか？

RSPOは、生産者が認証、法令順守、その他の持続可能性要件に伴う多額の費用をすでに負担していることを認識しています。会費を据え置きまたは引き下げることで、特に小規模な生産者に対する参加障壁がさらに高まることを避けます。 搾油工場を保有する生産者の会費は、年間2,000ユーロに据え置かれます。

搾油工場を保有しない生産者の会費は、年間2,000ユーロから1,000ユーロに引き下げられます。これは、こうした生産者が未加工の生鮮果房(FFB)を搾油工場に販売しており、自ら搾油工場を運営したり、FFBをパーム油製品に加工したりしていないことを反映したものです。

小規模生産者(500ヘクタール未満)については、大規模な生産者と比べて事業規模や負担能力が限定的であることを踏まえ、年間会費を500ユーロから250ユーロに引き下げられます。　小規模農家グループマネージャー区分も簡素化されます。現在はグループ規模に応じて250ユーロから2,000ユーロまでの段階制ですが、単一の一律料金250ユーロに移行します。これは、規模の大きい小規模農家グループにとって大幅な負担軽減となり、グループを基盤とした小規模農家の参加へのアクセシビリティ向上となります。

7. 加工業者・取引業者、消費財製造業者、小売業者、銀行・投資家の会費が引き上げられるのはなぜですか？

これらの会員区分は、RSPOのコミュニティおよびサプライチェーンにおいて重要な一部を構成しており、会費は長年変更されていません。2,000ユーロから3,500ユーロへの改定案は、RSPOの仕組みにおける役割や関与の程度に、負担額をより適切に合わせるとともに、RSPOによるサービスの継続的な強化と提供を支えることを目的としています。

8.　NGOに2段階の会費を提案しているのはなぜですか？また、適用資格の判定方法は変わりますか？

NGOは、RSPOのマルチステークホルダー型ガバナンスと信頼性において重要な役割を担っています。上表(Q4参照)では、NGO会員を「環境・自然保護」と「社会・開発」の2区分に分けていますが、いずれも同じ会費体系を適用するため、ここで説明する変更は両区分に等しく適用されます。

多くのNGOが限られた財源で活動していることを踏まえ、本提案では年間収入に基づく2段階の会費体系を導入します。

- 年間収入が50万米ドルを超えるNGO：年間250ユーロ。
- 年間収入が50万米ドル以下のNGO：年間100ユーロ。

これは、ユーロ建ての年間運営予算を基準とし、1億5,000万ユーロまでを4段階に区分する現行体系に代わるものです。各NGOは、低い会費区分の適用資格を証明するため、年間収入を示す書類を提出する責任があります。証拠書類が提出されない場合は、原則として高い方の会費が適用されます。事務局は、2027年の実施に先立ち、詳細な提出方法を案内します。

9. サプライチェーン・アソシエイトの会費が100ユーロから250ユーロに引き上げられるのはなぜですか？

100ユーロから250ユーロへの変更は、この区分における認証、ライセンス、管理業務に必要な事務局の支援水準をより適切に反映することを目的としています。

請求方法も簡素化されます。サプライチェーン・アソシエイトには、毎年ではなく、2年間に一度、2年分として500ユーロが請求されます。

10. アフィリエイト会員、管轄区域会員、名誉会員にはどのような影響がありますか？

これらの取扱いに変更はありません。アフィリエイト会員は引き続き年間250ユーロを支払い、管轄区域会員および名誉会員は引き続き会費なしで会員資格を保持します。

適用時期と必要な対応

11. 改定後の会費はいつから適用されますか？

本提案がGA23で承認された場合、改定後の会費体系は2027年1月1日に発効します。更新料を含め、同日以降に支払期限を迎える会費に適用されます。

2027年1月1日より前に支払期限を迎えた会費には、その期限時点で適用されていた会費体系が引き続き適用されます。

12. すでに請求された会費や現在の会員期間に影響はありますか？

いいえ。改定後の会費は、2027年1月1日以降に開始する会員期間にのみ適用されます。すでに発行済みの請求書や、すでに開始している会員期間に遡って適用されることはありません。

13. 現時点で何か対応する必要はありますか？

現段階で会員に求められる対応はありません。GA23で決議が承認された場合、RSPO事務局は発効日以降、改定後の会費体系を会員更新手続きに組み込み、請求額が変更される前に会員へ直接連絡します。

皆様の次回の更新には、その支払期限日に適用される会費体系が反映されます。

会費の使途

14. 会費は何に使われますか？

皆様の会費は、持続可能なパーム油のための信頼できる効果的な仕組みをRSPOが維持し、発展させるために活用されます。具体的には、次の活動が含まれます。

- 会員支援　RSPOは、会員がRSPOの仕組みに効果的に参加できるよう、専用の会員向けサービス、情報発信、地域での関係構築、ガイダンスを提供します。
- 信頼できる基準と保証の維持　RSPOは、仕組みの信頼性と完全性を維持するため、RSPO基準ならびに認証、保証、苦情処理の各制度を策定し、継続的に改善します。
- 持続可能なパーム油市場の強化　RSPOは、認証済み持続可能なパーム油の需要拡大につながる市場開発と取り組みを支援します。
- 効果的なガバナンスの維持　RSPOは、監督とステークホルダーの代表性を確保するため、理事会、常任委員会、作業部会、総会を支援します。
- 責任ある組織運営　RSPOは、使命を効果的に遂行するために必要な人材と、法務、財務、技術、運営の基盤を維持します。
- **RSPO**戦略の実行　RSPOは、使命と目標を推進するため、戦略上の優先事項と長期運営計画を実施します。

お問い合わせ

会費体系の変更案について、本FAQに記載されていないご質問がある場合は、RSPO事務局までお問い合わせください。

RSPO会員担当チーム
membership@rspo.org

ご参照用として、以下に英語版を掲載します。